

世界的画家、藤田嗣治の最初の妻鴉田とみのこと

「美術学校の卒業期、若い青春の俺は、卒業試験の大作を成すために房州の海岸に行った。その時恋に落ち、その恋を続けていた事二年、父に手紙を書いた。一生の伴は好いた女でなければ生き甲斐もない等と書いた。女は旧家の資産家の秘蔵娘である。昔の草紙の挿絵にある様な銀杏返しの子である。薄暗い倉の中で女は父に手紙を書いた。二人は二人の父に宛て手紙を書いて駆け落ちをした」

美術学校の学生は藤田嗣治であり、女は最初の妻になつた鴉田とみです。とみは市原市草刈の素封家鴉田友七の次女として、一八八六（明治十九）年に生まれ、

創立直後の千葉高等女学校（現千葉女子高）を卒業後、東京の女子美術学校（現女子美大）に進学し、一九〇八（明治四十一）年、創立当初の東金高等女学校（現東金高）の教師として赴任し、その時期に藤田と知り合いました。藤田の父嗣章（森鷗外の後任の陸軍軍医総監）も館山藩の士族で千葉県と深い縁があります。パリの街で自分が一番新しい絵をやっている直ぐに「世界で一番になる」と言いながら、とみを置いて来たことをどれほど後悔しているか、どれほど愛しているかを何度も何度も手紙に書いています。それほど愛していたとみではあつたが、理解者であつた父が亡くなり、彼女の渡欧は難しくなつてしまいました。

○語彙力チェック

①「雀百まで踊り忘れず」と似た意味のことわざは次のどれか。

A 芸は身を助く

B 河童の川流れ

C 三つ子の魂百まで

②次の口以後から適当な語を入れよ。

A 会議でA君を委員として口めた

B 彼はしきりに僕に入会を口めた

C 時計の針を十分口めた

a 進 b 薦 c 勧

③「ストイック」の意味は次のどれか

A 禁欲的 B 積極的 C 道徳的

④「すねをかじる」とほぼ同内容の語は次のどれか。

A 独立 B 依存 C 強調

⑤「すべない」の間違った用法は次のどれか。

A こうなれば、なすすべもない。

B なすすべもなく敗れた。

C すべもない戦いは嫌いだ。

（解答）①C②AbBcCa③A

④B⑤C